

～支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまちを目指して～ あなたの声をお聞かせください

～朝霞市の地域福祉に関する市民アンケート調査のお願い～

日ごろ、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、朝霞市では、支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまちを推進するために、朝霞市と朝霞市社会福祉協議会が協働し、令和3年度を初年度とする「第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することとなりました。

そこで、市民の皆様の『地域福祉』に対するご意見を各々の計画に反映させるため、朝霞市が住民基本台帳に登録されている18歳以上の方の中から3,000人を無作為で選ばせていただき、「地域福祉に関するアンケート」を実施いたします。15分程度で回答できるアンケートです。

このアンケートの調査結果は、上記の目的以外に利用することは一切ありません。また、個人が特定できないように処理し、朝霞市のホームページにて結果をお知らせいたします。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年9月

朝霞市長

富岡 勝則

朝霞市社会福祉協議会 会長 松尾 哲

※ご記入にあたってのお願い

- ①お送りした封筒の**あて名のご本人**がご回答ください。何らかの理由でご本人による記入が難しい場合は、家族や介護者が**あて名のご本人の立場で代筆**していただいても構いません。
- ②**調査票、返信用封筒へのご記名は不要ですので、**ありのままをご回答ください。
- ③回答は、2ページから順に、質問ごとに用意した選択肢の中から、あなたのお考えにあてはまる番号に○印をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）に具体的な内容を記入してください。
- ④一部の方だけに答えていただく質問もあります。その場合は（→）で示したり、説明文がありますので、指示にしたがってお答えください。
- ⑤ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル、万年筆でお願いいたします。
- ⑥ご記入がすみましたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和●年●月●日（●）までにポストに投函ください。

※障害のある方で代筆者がいない場合などは個別に対応させていただきますので下記へお問い合わせください。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】 朝霞市 福祉部 福祉相談課 地域福祉係

TEL：(048) 463-1594（直通） FAX：(048) 463-1025

市民アンケート素案

最初に、あなた自身のことについてお聞きします。

令和元年9月1日時点でお答えください。

問1 あなたのお住まいはどの地区ですか。(1つに○)

1. 青葉台1丁目	2. 朝志ヶ丘(1~4丁目)
3. 岡(1~3丁目、大字含む)	4. 大字上内間木
5. 北原(1~2丁目)	6. 幸町(1~3丁目)
7. 栄町(1~5丁目)	8. 大字下内間木
9. 泉水(1~3丁目)	10. 大字台
11. 田島(1~2丁目、大字含む)	12. 仲町(1~2丁目)
13. 西原(1~2丁目)	14. 西弁財(1~2丁目)
15. 大字根岸	16. 根岸台(1~8丁目)
17. 浜崎(1~4丁目、大字含む)	18. 東弁財(1~3丁目)
19. 膝折町(1~5丁目)	20. 本町(1~3丁目)
21. 溝沼(1~7丁目、大字含む)	22. 三原(1~5丁目)
23. 宮戸(1~4丁目、大字含む)	24. 陸上自衛隊朝霞駐屯地

問2 あなたは、朝霞市にお住まいになってどのくらいになりますか。(1つに○)

1. 5年未満	2. 5~9年	3. 10~19年
4. 20~29年	5. 30~49年	6. 50年以上

問3 あなたの性別は。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 あなたの職業は。(1つに○)

1. 会社員・役員	2. 自営業	3. 専門職
4. 公務員	5. 学生	6. 専業主婦・専業主夫
7. パート・アルバイト	8. 無職	9. その他()

問5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。(1つに○)

1. 朝霞市内	2. 和光市・志木市・新座市
3. その他埼玉県内	4. 東京都
5. その他()	6. 通勤・通学していない

問6 あなたの年齢は。(1つに○)

1. 18~29歳	2. 30~39歳	3. 40~49歳
4. 50~59歳	5. 60~69歳	6. 70~79歳
7. 80~89歳	8. 90歳以上	

問7 あなたの同居している世帯・家族の構成は。(1つに○)

- | | | |
|---------------|----------|-------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子(2世代) |
| 4. 親と子と孫(3世代) | 5. 兄弟や親族 | 6. その他() |

問8 あなた自身もしくは、ご家族の中で該当する方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 介護保険のサービスを受けている | 2. 障害福祉のサービスを受けている |
| 3. 18歳未満の子がいる | 4. 外国籍である |
| 5. いずれもない | |

朝霞市に対する印象についてお聞きします。

問9 朝霞市はあなたにとって暮らしやすいですか。（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 暮らしやすい
2. 暮らしにくい
3. どちらともいえない |
|--|

問10 次のような生活に関連する項目について、①～⑫のそれぞれあてはまるものをお答えください。（それぞれ1つに○）

	満足	どちらかといえは満足	わからない	どちらかといえは不満	不満
① 児童館、老人福祉センターなどの社会福祉施設	1	2	3	4	5
② 犯罪や事故の少ない社会環境	1	2	3	4	5
③ 近隣住民との連帯感（コミュニティ）	1	2	3	4	5
④ 職場（学校）と住まいの近さ	1	2	3	4	5
⑤ 高齢者に関するサービス	1	2	3	4	5
⑥ 障害のある人に関するサービス	1	2	3	4	5
⑦ 子育てに関するサービス	1	2	3	4	5
⑧ 低所得者に関するサービス	1	2	3	4	5
⑨ 通勤や通学などの交通の便	1	2	3	4	5
⑩ 生活用品などの買い物	1	2	3	4	5
⑪ 病院などの医療機関	1	2	3	4	5
⑫ 相談窓口の分かりやすさ	1	2	3	4	5

近所付き合いについてお聞きします。

問11 近所の人は普段どのような付き合いをしていますか。(1つに○)

1. 日ごろから親しく付き合っている	}	→問12へ
2. 会えば立ち話をする		
3. あいさつする程度であまり近所付き合いはない	}	→問11-1へ
4. 近所の人は全く付き合いがない		
5. その他()		→問12へ

(問11で「3. あいさつする程度であまり近所付き合いはない」「4. 近所の人は全く付き合いがない」と答えた方のみ)

問11-1 近所付き合いをしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない
2. 近所付き合いはわずらわしいので避けている
3. 近所付き合いはしたいが、きっかけがない
4. 近所付き合いをしてもいいが、なじめない
5. ふだん留守の家が多く、近所付き合いのほとんどない地域である
6. 年齢や家族構成に共通するところがない
7. 必要性を感じない
8. その他()

問12 困ったことがあるとき、近所で気軽に相談できる人はいますか。(1つに○)

1. 5人以上いる	2. 3~4人いる	3. 2人いる
4. 1人いる	5. いない	

問13 近所の人と、今後どのような付き合いをしていきたいですか。(1つに○)

1. 日ごろから行き来があるくらいに親しくしたい	}	→問13-1へ
2. いざというときに助け合えるくらいに親しくしたい		
3. 会えば立ち話をする程度に親しくしたい		
4. 生活時間帯が違うので近所付き合いは難しい	}	→問14へ
5. 近所付き合いはしたくない		
6. その他()		→問14へ

(問13で「1. 日ごろから行き来があるくらいに親しくしたい」「2. いざというときに助け合えるくらいに親しくしたい」「3. 会えば立ち話をする程度に親しくしたい」と答えた方のみ)

問13-1 近所との付き合いを深めるためのきっかけとして、どんなものが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会・子ども会等	2. 近隣の清掃活動
3. 趣味を通じたサークル活動等	4. ボランティアや福祉に関する講座
5. 地域懇談会(茶話会)	6. 防災訓練、避難所体験等
7. 気軽に集える場所	8. 地域の見守り、声掛け活動
9. その他()	

朝霞市社会福祉協議会（朝霞市社協）についてお聞きします。

問14 朝霞市社協の活動のうち、知っているものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. ふれあいサービス | 2. 福祉有償運送サービス（移送サービス） |
| 3. 福祉車両の貸出 | 4. 車椅子の貸出 |
| 5. 福祉体験用具の貸出（車椅子・アイマスク
・点字器・高齢者疑似体験セット） | 6. 布遊具の貸出 |
| 7. あんしんサポートねっと | 8. 福祉資金の貸付 |
| 9. ボランティアセンターの運営 | 10. 福祉教育（小・中学校）の実施 |
| 11. 広報紙「社協あさか」の発行 | 12. SNS（ツイッター等）の発信 |
| 13. 地域福祉活動計画の推進 | 14. 地域懇談会の開催 |
| 15. 朝霞市社会福祉協議会マスコットキャラクター
アーシャ♡るくるん | 16. 障害者就労支援センターの運営 |
| 17. 障害者相談支援センターの運営 | 18. 老人福祉センターの管理運営（市内2カ所） |
| 19. はあとぴあ福祉作業所の管理運営 | 20. あさか福祉作業所の管理運営 |
| 21. 児童館の管理運営（市内5カ所） | 22. 放課後児童クラブの管理運営（市内10カ所） |
| 23. 一般介護予防事業 | 24. 手話通訳者等派遣事業 |

民生委員・児童委員、保護司についてお聞きします。

問15 民生委員・児童委員^{*}の活動のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※民生委員・児童委員とは、生活にお困りの方や心配ごとがある方の地域の身近な相談相手として活動している民間のボランティアです。

1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
2. 福祉に関する情報の提供
3. 地域住民の見守り
4. 福祉サービス利用にあたっての支援
5. 地域の福祉課題を解決していくための仕組みづくり
6. 民生委員・児童委員は知っているが、活動で知っているものは特にならない
7. 民生委員・児童委員自体を知らない

問16 民生委員・児童委員の活動のうち、あなたはどのような活動を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
2. 福祉に関する情報の提供
3. 地域住民の見守り
4. 福祉サービス利用にあたっての支援
5. 地域の福祉課題を解決していくための仕組みづくり
6. 災害などの非常時における安否確認
7. その他()
8. 特にならない

問17 保護司^{*}の活動のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。

1. 保護観察
2. 生活環境調整
3. 犯罪予防活動
4. 社会を明るくする運動
5. 保護司は知っているが、活動で知っているものは特にならない
6. 保護司自体を知らない

地域での活動や課題についてお聞きします。

問18 あなたの身近な地域には、どのような課題があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

子育て	<ul style="list-style-type: none"> 1. ひとり親家庭の子育て支援 2. 共働き家庭の子育て支援 3. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援 4. 子どもへの^{きゅうたい}虐待 5. 子どもの貧困
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 6. 高齢者の社会参加や生きがいつくりに対する支援 7. 高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買い物支援など） 8. 高齢者への^{きゅうたい}虐待 9. 孤立（孤独死） 10. 介護者、介助者への情報提供などの支援
障害者	<ul style="list-style-type: none"> 11. 障害のある人が地域で自立して生活するための支援 12. 障害のある人に対する地域の理解、交流の不足 13. 障害のある人への^{きゅうたい}虐待 14. バリアフリー環境の整備 15. 介護者、介助者への情報提供などの支援
その他	<ul style="list-style-type: none"> 16. 青少年の健全育成、犯罪や非行 17. 生活習慣病予防など健康づくりへの取り組みの不足 18. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動 19. 地域で孤立している者への支援 20. 振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動 21. 生活困窮者への支援 22. 仕事に就けない人への就労支援 23. 外国人の地域での生活に対する支援 24. 過去に罪を犯した人への更生支援 25. 空き家の増加 26. ひきこもりの方への支援不足 27. 住民同士のつながりの欠如 28. その他（） 29. 特にない

問19 あなたの地域で優先的に解決しなければならない課題はありますか。（〇は3つまで）

子育て	<ul style="list-style-type: none"> 1. ひとり親家庭の子育て支援 2. 共働き家庭の子育て支援 3. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援 4. 子どもへの^{ぎゃくたい}虐待 5. 子どもの貧困
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 6. 高齢者の社会参加や生きがいづくりに対する支援 7. 高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買い物支援など） 8. 高齢者への^{ぎゃくたい}虐待 9. 孤立（孤独死） 10. 介護者、介助者への情報提供などの支援
障害者	<ul style="list-style-type: none"> 11. 障害のある人が地域で自立して生活するための支援 12. 障害のある人に対する地域の理解、交流の不足 13. 障害のある人への^{ぎゃくたい}虐待 14. バリアフリー環境の整備 15. 介護者、介助者への情報提供などの支援
その他	<ul style="list-style-type: none"> 16. 青少年の健全育成、犯罪や非行 17. 生活習慣病予防など健康づくりへの取り組みの不足 18. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動 19. 地域で孤立している者への支援 20. 振り込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯活動 21. 生活困窮者への支援 22. 仕事に就けない人への就労支援 23. 外国人の地域での生活に対する支援 24. 過去に罪を犯した人への更生支援 25. 空き家の増加 26. ひきこもりの方への支援不足 27. 住民同士のつながりの欠如 28. その他（） 29. 特にない

問20 もし、あなたの周辺で孤立や虐待（児童、高齢者、障害のある人）などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 直接訪問する | 2. 近隣の人に相談する |
| 3. 自治会・町内会役員に相談する | 4. 民生委員・児童委員に相談する |
| 5. 社会福祉協議会に相談する | 6. 市役所・児童相談所などの公的機関へ相談する |
| 7. 警察・交番に相談する | 8. その他（) |
| 9. わからない | 10. 特に何もしない |

ボランティア活動*についてお聞きします。

※有償、無償は問いません。

問21 あなたはボランティア活動をしていますか。(1つに○)

1. 現在やっている	}	→問22へ
2. 過去にやったことがある		
3. やったことはない	}	→問21-1へ
4. 興味はあるがやったことはない		

(問21で「3. やったことはない」「4. 興味はあるがやったことはない」と答えた方のみ)

問21-1 あなたがボランティア活動に参加できない理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 育児で忙しい	2. 介護で忙しい
3. 仕事・アルバイトで忙しい	4. 報酬がない
5. 関心がない	6. 体調面に不安がある
7. 始めるきっかけがない(始め方が分からない)	8. 情報がない
9. 取り組みたい内容がない	10. 自分に合う活動が分からない
11. その他()	

問22 あなたはボランティア活動する機会があればしてみたいですか。(1つに○)

1. してみたい	→問22-1へ	
2. してみたくない	}	→問23へ
3. どちらともいえない		

(問22で「1. してみたい」と答えた方のみ)

問22-1 ボランティア活動してみたいと思った時、どのような事が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ボランティア活動のメニューが充実すること
2. 気軽にボランティア活動体験ができること
3. 団体の活動内容に関する情報が充実すること
4. 活動への参加の仕方が分かりやすいこと
5. わずかでも報酬があること
6. 自分の仕事や特技を活かせること
7. 自分に合った時間や活動内容であること
8. 朝霞市ボランティアセンターの情報発信
9. 情報を得やすいこと
10. 活動のきっかけとなる講座の開催
11. 相談窓口の周知
12. その他()

問23 どのような内容であれば、ボランティア活動してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者・障害のある人の話し相手	2. 子どもの遊び相手
3. 買い物や病院等への車の送迎	4. 外出の付添い
5. 資格を活かしたもの	6. 手芸や創作活動等特技を活かすもの
7. 家事援助(掃除・洗濯・料理・買い物など)	8. 社会福祉施設におけるボランティア活動
9. 地域の自然を守る活動	10. 外国の方との交流
11. 災害時のボランティア活動	12. 防災関連
13. 防犯関連	14. 交通安全
15. 行政ボランティア(市の手伝いなど)	16. 身近な地域での声掛けや見守り活動
17. その他()	

問24 地域の活動・行事への参加状況について教えてください(あてはまるものすべてに○)

- (1) 直近3年間で、学校や仕事以外で、地域の活動・行事に参加したことがありますか。
 (2) 今後参加してみたい活動は何ですか。

		(1) 参加したことがある	(2) 今後参加してみたい
①	お祭り	1	1
②	クリーン活動・リサイクル回収	2	2
③	旅行・スポーツ・レクリエーション	3	3
④	防犯・防災・交通安全活動	4	4
⑤	子ども会行事	5	5
⑥	小中学校行事	6	6
⑦	サロン活動(居場所づくりなど)	7	7
⑧	自治会・町内会活動	8	8
⑨	その他()	9	9
⑩	特にない →問24-1へ	10	10

(問24 (1) で「⑩特にない」と答えた方のみ)

問24-1 あなたが地域の活動や行事に参加していない理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や家事で忙しい	2. 介護や育児で忙しい
3. 家族の理解がない	4. 興味がない
5. 健康や体力に不安がある	6. 経済的負担が大きい
7. 知り合いが少ない	8. 行事・活動の情報がない
9. 地域の人と関わりたくない	10. 地域活動は必要ないと思う
11. その他()	

問25 在住外国人にとっても、暮らしやすい地域にするためには、どのようなことが大事だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日本語習得の手伝いをする
2. お互いの文化を知る機会を増やす
3. お知らせや情報について外国語版を作成する
4. 言葉がわかるボランティアを増やす
5. 地域活動や行事に誘うなど地域との関わりを深める
6. 外国語講師など、活躍の場を増やす
7. 気軽に相談できる窓口の充実、地域との関わりを増やすための受け入れ体制を整備する
8. その他()

防災活動についてお聞きします。

問26 防災に関連する項目について、①～⑥のそれぞれあてはまるものをお答えください。（それぞれ1つに○）

	はい	いいえ	わからない
① 身近な避難場所と行き方を知っていますか	1	2	3
② 地域の防災訓練に参加していますか	1	2	3
↳②で「いいえ」又は「わからない」を選択された方は、「問26-1」もお答えください。			
③ 地域の自主防災組織に参加していますか	1	2	3
↳③で「いいえ」又は「わからない」を選択された方は、「問26-2」もお答えください。			
④ 災害時に避難の手助けが必要ですか	1	2	3
⑤ 災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか	1	2	3
⑥ 災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか	1	2	3

（問26の②で「2. いいえ」又は「3. わからない」と答えた方のみ）

問26-1 あなたが地域の防災訓練に参加していない理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事や家事で忙しい	2. 介護や育児で忙しい
3. 家族の理解がない	4. 興味がない
5. 健康や体力に不安がある	6. 経済的負担が大きい
7. 知り合いが少ない	8. 行事・活動の情報がない
9. 地域の人と関わりたくない	10. 地域活動は必要ないと思う
11. その他（ ）	

（問26の③で「2. いいえ」又は「3. わからない」と答えた方のみ）

問26-2 あなたが地域の自主防災組織に参加していない理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事や家事で忙しい	2. 介護や育児で忙しい
3. 家族の理解がない	4. 興味がない
5. 健康や体力に不安がある	6. 経済的負担が大きい
7. 知り合いが少ない	8. 行事・活動の情報がない
9. 地域の人と関わりたくない	10. 地域活動は必要ないと思う
11. その他（ ）	

問27 災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している
2. 食料や飲料水を準備している
3. 常備薬^{じょうびやく}・入れ歯^{ほちょうき}や補聴器^{ほちやうき}など無いと困るものを準備している
4. 避難する場所を決めている
5. 家具の転倒防止をしている
6. スリッパやくつなどをいつでも使えるように置いている
7. 貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している
8. 耐震補強^{たいしんほきやうこうじ}工事^{こうじ}をしている
9. 市発行の地震・洪水ハザードマップで防災情報を確認している
10. 近所の人や知り合いと声をかけ合ったり、確認し合うことを話題にしている
11. その他（）
12. 特に何もしていない

問28 地震や火災等の災害時に住民同士が協力し合えるためには、どのようなことが必要だと思えますか。（○は3つまで）

1. 地域での自主防災組織づくり
2. 地域での定期的な防災訓練
3. 地域での勉強会
4. 福祉サービス事業者や行政との連携
5. 各避難行動要支援者^{ひなんこうどうようしえんしや}※の支援計画を地域のみinnで考える
6. その他（）
7. 特にないと思う

※避難行動要支援者^{ひなんこうどうようしえんしや}：高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する人（要配慮者）のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者。

「地域共生社会」※の実現に向けた地域のつながりについてお聞きします。

※「地域共生社会」とは、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

問29 あなたは、地域に困っている世帯がある場合、現在既に「手助けしていること」や今後「手助けできること」はありますか。また、現在もしくは将来的に、あなた自身が地域の人に「手助けしてもらいたいこと」はありますか。①～⑱のそれぞれあてはまるものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

	他人に関すること		自身に関すること
	手助けしていること	手助けできること	手助けしてもらいたいこと
① 安否確認の声かけ	1	2	3
② 話し相手	1	2	3
③ 困りごとなどの相談	1	2	3
④ 日用品などのちょっとした買い物	1	2	3
⑤ 電球交換などのちょっとした作業	1	2	3
⑥ ごみ出し	1	2	3
⑦ 家の中の掃除や洗濯	1	2	3
⑧ 庭の手入れ	1	2	3
⑨ 食事づくり	1	2	3
⑩ 短時間の子どもの預かり	1	2	3
⑪ 保育園・幼稚園の送迎	1	2	3
⑫ 散歩の付き添い	1	2	3
⑬ 通院の付き添い（送迎）	1	2	3
⑭ 病気の時の看病	1	2	3
⑮ 経済的な支援	1	2	3
⑯ 防犯見回り、防災訓練などへの参加	1	2	3
⑰ 災害時・緊急時の手助け	1	2	3
⑱ 近所のイベントの手伝い	1	2	3
⑱ その他（ ）	1	2	3

問30 地域のつながりが必要と感じる時はどのような時ですか。（〇は3つまで）

1. 災害が起こったとき
2. 病気や怪我等緊急のとき
3. 地域で事件や事故が起こったとき（防犯活動を行うとき）
4. 孤立・孤独への不安があるとき
5. 生活上の悩みや困り事を相談したいとき
6. 子育てについて支援をしてもらいたいとき
7. 介護について支援をしてもらいたいとき
8. 地域の環境、文化、伝統等を維持・継承するとき
9. その他（

）

朝霞市の福祉についてお聞きします。

問31 朝霞市の福祉についての情報はどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 市役所の窓口 | 2. 朝霞市の広報紙『広報あさか』 |
| 3. 朝霞市のホームページ | 4. 社会福祉協議会(社協)の窓口 |
| 5. 社協の広報紙『社協あさか』 | 6. 社協のホームページ |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. ボランティア |
| 9. 家族・親族 | 10. 友人・知人等からの口コミ |
| 11. 自治会・町内会 | 12. 福祉サービスの事業者 |
| 13. 福祉活動団体 | 14. SNS |
| 15. その他 () | 16. 知らない、わからない |

問32 日常生活で困ったことがあった場合、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 市役所 | 2. 警察 |
| 3. 病院、診療所 | 4. 児童相談所 |
| 5. 学校、保育園、幼稚園 | 6. 社会福祉施設 |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 社会福祉協議会 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 自治会・町内会の役員 |
| 11. ボランティア | 12. 友人・知人 |
| 13. 家族・親族 | 14. 福祉サービスの事業者 |
| 15. 近所の人 | 16. その他 () |
| 17. 知らない、わからない | 18. だれにも相談しない |

問33 福祉のまちづくりに向けた、行政と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 福祉への責任は行政にあり、住民は特に協力することはない |
| 2. 行政だけで解決できない問題については、住民同士が協力して取り組むべきである |
| 3. 福祉の問題についても、行政と住民が協働して、取り組むべきである |
| 4. 家庭や地域での助け合いが基本で、できない場合に行政が取り組むべきである |
| 5. わからない |

問34 地域福祉活動を促進するための基盤として、有効なものは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|---------------|-------------|
| 1. 自治会・町内会 | 2. 子ども会 | 3. 当事者団体 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 5. 保育園・幼稚園 | 6. 趣味・サークル |
| 7. 小学校・中学校 | 8. 高校・大学・専門学校 | 9. PTA |
| 10. NPO・ボランティア団体 | 11. 老人クラブ | 12. 介護・福祉施設 |
| 13. 企業 | 14. 商工会 | 15. その他 () |

問35 今後、朝霞市及び朝霞市社協で福祉のまちづくりを進めるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（〇は3つまで）

1. 相談支援体制の整備
2. 社会福祉施設での地域住民との交流
3. わかりやすい福祉情報の提供
4. 福祉関連事業所のつながり
5. 在宅サービスの充実
6. 保健・医療・福祉の連携
7. 福祉サービスを受ける人の権利を守ること
8. 福祉教育の充実（学校・地域）
9. ボランティア・地域活動による生きがいづくり
10. だれにでも使いやすい施設、まちづくり
11. 災害時・緊急時の防災・安全対策の充実
12. 心と体の健康づくり
13. ボランティアの養成
14. 専門的人材の交流
15. 住民が主体的に活動できる場所の確保
16. 市の福祉の予算の増額を図ること
17. その他（）

自由意見欄

最後に、これからの地域福祉におけるまちづくりについて、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。